

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和4年度岐阜県立池田高等学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和4年11月2日（水）10：00～12：00
- 3 開催場所 池田高等学校会議室
- 4 参加者 会長 小林 月子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校長
副会長 西川 昭 地域商工会議等代表
委員 仲井 智一 池田町教育長
宇野 秀宣 神戸町教育長
伊藤 敦 池田町立池田中学校長
山中 好美 神戸町立神戸中学校教頭（代理出席）
寺戸 敏彦 池田町杉野区長
高橋あゆみ 神戸町立図書館運営協議会委員
神戸町立北小学校・神戸町南小学校読み聞かせボランティア
安田 正博 垂井町青少年県指導員
山川 緑 育友会長

学校側 西谷 徹 校長
栗原 利樹 教頭
若園 佳織 事務長
吉田 一臣 教務主任
稲葉由里子 生徒指導主事
古山 克幸 進路指導主事

5 会議の概要（協議事項）

○学校評価アンケートの結果について

(1) 内務部（教務）関連

意見1：アンケートNo.15「本校の先生は、授業や家庭学習への指導・支援等を通して一人一人能力に応じた指導を行っている」に対して肯定的意見の下落率が比較的高い原因分析と対策はどのようなか。

⇒原因は講義調の授業が多いことと考えられたので、主体的に学べる授業づくりをテーマにICTを活用し活動の多い授業を展開するように研修し実践している。

意見2：「福祉のまち、池田町」を掲げている地元の高校としては1年生の次年度コースで保育・福祉の選択者が少ないが、色々な体験をすることでどんどんやろうとする生徒が増えるとよい。期待している。

⇒ボランティア活動の案内は昨年度よりも頻回にできているが、有志で希望する生徒が少ないという現状である。積極的な参加を促すことが課題である。

(2) 生徒部（生徒指導・特別活動）関連

意見3：いじめ事例はどんなことがあるか。重大事態事例はあるか。

⇒クラスの友人関係トラブルが多い。事情聴取を行うなど対応し、その後は生徒との二者面談で状況を確認し、解消状態を保っている。重大事態事例はない。

意見4：中学校では地域移行中であるが、教員の部活動への関わり方が中高でのギャップが生まれてくるため、中高での連携が必要である。また、中学生時代にコロナ禍でボランティア活動が思うようにできず、ボランティア精神の育成が難しかった。丁寧に説明して募集を行い、参加を促していただきたい。

意見5：現代の子どもたちは表現力不足という傾向がある。対人関係で発信がうまくできないこと、受け答えがうまくできないことがいじめに繋がっているように思う。

⇒実施しているSOS教育が、よりよく生きるための表現力向上に活きると思われる。

意見6：現代の学生は基礎学力（読解力）が高校の段階で十分に積み上げられていない。

⇒授業において文章題を中心に演習を行ったり、文章で記述する場面を作ったりしている。また総合的な探究の時間で、周りに関わりながら課題を解決する力も身につけさせている。

○全体協議（意見交流）

意見7：「池田高校に入学してよかったか」が非常に高い数値で保護者も肯定的に捉えているのは素晴らしいが、なぜよかったと思っているのか、より明らかにしていくことが大切である。記述形式で回答してもらってもいいのではないか。

意見8：「池田高校に入学してよかったか」について否定的な少数派にも目を向けて改善して欲しい。

意見9：授業が落ち着いていて取り組む姿勢もよかった。保護者の高評価はこの良い雰囲気や物語っている。卒業生の良い姿が見られてよかった。ICTを用いてプレゼンテーションをしたり、個人のタブレットに感想を書きこんだりしている姿があった。池田高校はこの1年生から単位制となり、色々と学べることを伝

えていきたい。

意見 10：自分の会社で高校生に面接をすると、前向きで生き方を定めているなど思う。一方、活用できる道具が身の回りにたくさんあるが、道具に振り回されないような生徒になってもらいたい。ある池田高校出身者が、「池田高校に入学してよかった。友人がたくさんできた。」と話していた。友人関係が深まる環境作りのおかげではないかと思う。

意見 11：コロナ対策で疲れることが増えると思う。緊張感をほぐすために、お昼休みに昼寝（リラックスタイム）を取り入れたらどうか。心のゆとりを持てる時間があるといい。

意見 12：基礎学力の程度を把握しているか。それがないとESDを持続できないのではないか。こつこつ学習することに主眼を置いてはどうか。

意見 13：図書館の読み聞かせボランティアの機会も戻りつつあるので、ぜひ参加してほしい。保護者の立場では、情報がありすぎて進路決定に親子ともに迷うということもある。そのようなとき、多くの先生にアドバイスしていただきたい。

意見 14：参観時、気持ちをはっきりと述べている生徒が多くいてよかった。問題を抱えていて支援が必要な生徒にも目を向けて、きめ細かい個別対応をぜひお願いしたい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、まず授業参観及び生徒会執行部生徒との交流を行った上で、生徒及び保護者を対象とした学校評価アンケート（7月実施）の結果分析・説明を軸に、委員の方々から忌憚のないご意見を得た。本校の教育活動や生徒の様子を肯定的に評価いただいた一方、さらに踏み込んだ現状分析に基づくいっそうの発展・改善への期待を感じる協議であった。

本校は来年度40周年を迎える。これまでの蓄積に加え、今年度からの単位制移行やより本格的に発展を目指す探究活動といった新たな取組など、一つ一つを丁寧に検証しながら教育活動を進めていきたい。